

第3回中小企業都市サミット

すみだ宣言

平成12年6月2日
中小企業都市連絡協議会

第3回中小企業都市サミット

すみだ宣言

「地域」は自らの意思決定と責任のもとで活力ある豊かな地域社会を築いていかなければならない。そうした地域社会を実現するためには、地域経済の活力が不可欠である。工業集積を抱える我々10都市の活力を導く重要な牽引力は「ものづくり」にあると考える。地域中小企業のものづくりを改めて高く評価し、その活動を盛り立てていくこととする。

世紀の節目を迎え経済のグローバル化はますます進展し、地域のものづくりは国際的な大競争に直面している。そしてさらに、日本社会に現存する高コスト構造と少子高齢社会の中で、地域に拠点を置く中小企業は競争力の維持、強化に努力を積み重ねている。このような国内外の状況に苦慮している地域中小企業がある一方で、環境変化に素早く適応し成長する「元気な中小企業」も現れている。

こうした地域の状況にあって、現在、最も重要かつ緊急の課題は、ものづくりに関わる「ひとづくり」であると考え。ものづくりの基礎を支える核心的な基盤技術・技能は、『ひと』が担っている。この核心的な基盤技術・技能の熟練をいっそう磨き「ものづくりの志」を高くする人材を地域社会の教育、職場で育成し、厚く評価し、広くアピールしていく。

また、基盤技術・技能の熟練を追求するひとづくりとともに、IT等革新的な技術をもものづくりに結びつけていく人材、斬新な発想や鋭い感性、幅広い視点をもった人材が新たにもものづくりに参入し、熟練技術・技能を発展的に継承して活躍できる環境を提供していく。

さらに、自治体と商工会議所の職員の専門的能力を高め、地域が自ら「地域産業政策」を提案し、企業・ものづくりを担う人々・教育機関等と共に考え協力し、目的達成のために『共援』していくこととしたい。

第3回中小企業都市サミット10都市では「ひとづくり」を共通のテーマとして、次の4つの行動領域を定め、具体的な事業計画を策定し、地域と企業が協力しながら活動していくこととする。

- I. ものづくり教育等による基盤技術・技能の復権と「熟練」の高度化の促進
- II. 既存事業の継承と新事業創造の環境整備促進
- III. 活力ある地域中小企業のバックアップ
- IV. ものづくりの新しい担い手の活躍

10都市のものづくりは多様性に富み、必ずしも地域の事情が同じとはいえない。それぞれ、地域のものづくりの特徴をさらに際立たせていくことが基本である。しかし、ひとつの地域だけではこれからのものづくりは完結しない。

そこで、お互いに個性的な「ものづくり」による地域づくりを競い、刺激しあいながら、地域間の広域ネットワークを密にし、ものづくりに関わる人材の育成とその人々の活躍を推める「地域産業政策」に共に取り組むことを宣言する。

平成12年6月2日